

1. 菅談話と竹島問題

- (1) 基本的に竹島問題が理解されていない。
- (2) 談話以後、韓国側の（竹島問題に対する）攻勢が強まる。
- (3) 8 月 10 日、竹島での独島領土守護対策特別委員会→天候不良で開催されず
- (4) 同日、鬱陵島で開催、慶尚北道（金寛容知事）、2008 年 7 月、「独島守護総合対策」実績報告。
 - ① サイバー青少年士官学校
 - ② 安龍福財団設立
 - ③ 独島平和号就航
 - ④ 大型アワビ稚貝放流
 - ⑤ 海域マグロ養殖
 - ⑥ 独島 DMB 放送開通
- (5) 慶尚北道の今後の重点事業「独島領土管理事業」
 - ① 独島現場管理事務所（200 m²）100 億ウォン
 - ② 独島総合海洋科学基地（1,320 m²）300 億ウォン
 - ③ 独島防波堤（150m）・接岸施設（50m）5000 億ウォン
 - ④ 鬱陵島・独島緑色島造成 2,200 億ウォン
- (6) 「我が領土独島」教科書はこのように変わる（聯合ニュース 8/12）
 - ① 「日帝による独島不法編入は清日・露日戦争を通じた日本の帝国主義」「間島協約」
 - ② 歴史 9 学年領域、「大韓民国の発展⑤項、独島をはじめとする領土問題」
 - ③ 2011 年、小学校 5 科目、2012 年高校韓国地理等 4 科目、2014 年以後、高校東アジア社会・法と社会・世界地理で記述
- (7) 8 月 26 日、竹島で臨時、開会式開催、「独島の月」条例 5 周年
- (8) 社団法人東海研究会、8 月 20 日～22 日、オランダのヘイグで第 16 回「東海の名称と海の名称に関する国際セミナー」開催
- (9) 韓国の「コリアヘラルド」、東海呼称問題で連載（毎週 1 月・これまで 13 回）

2. 韓国側、外務省の「竹島問題を理解するための10のポイント」に対する批判書刊行

(1) 『日本外務省竹島問題の概要批判』(2010年5月25日刊)

著者：キム ミョンキ (独島調査研究会名誉会長・明知大学校名誉教授)

：リ ドンウォン (本と人々法書出版社代表・間島研究会理事・独島調査研究会副会長)

付録として

①東北アジア歴史財団独島独島研究所

「日本外務省の独島広報パンフレット反駁文」

②韓国海洋水産開発院 (KMI)

「独島は仮に日本の領土なのか」(日本外務省「独島」広報資料に対する批判)

③領南大学校独島研究所

「Refutation on ‘10 Issues of Takeshima’ of Japanese Ministry of Foreign Affairs」を収録